

## ◎ 国語部門

### 1 行事及び内容

#### (1) 研究委員会

① 第1回研究委員会：6月13日（月）

- ・ 事業計画
- ・ 文集「あまくさ」第55集の編集方針と募集要項の検討
- ・ 研究発表会の検討

② 国語部門研修会：8月4日（木）

③ 第1回文集「あまくさ」審査会：12月27日（火）

- ・ 編集までの日程と審査基準の確認および審査
  - ・ 入賞者名簿作成
- ※ 学校図書館教育部門と合同

④ 第1回文集「あまくさ」編集委員会：1月5日（木）

- ・ 審査反省および入賞者名簿の作成

⑤ 第2回文集「あまくさ」編集委員会及び第2回研究委員会：1月24日（火）

- ・ 第56集の校正、点検
- ・ 年間反省
- ・ 次年度へ向けて

⑥ 第3回文集「あまくさ」編集委員会：1月31日（月）

- ・ 第56集の最終点検、編集の反省

～その他の活動～

※ 小学校県文集「ゆめ」天草郡市審査会：10月27日（木）

#### (2) 本年度の国語部門研修会について

研究テーマ「生きて働く言葉の担い手が育つ国語科授業の創造」のもと、8月4日（木）に天草教育会館において、以下の内容で研究発表会を実施した。

##### ○ 講話及び演習

講師：熊本県立教育センター 下中一平 指導主事

※ 参加者：小学校40名、中学校23名

### 2 成果と課題

本年度は人数制限をせずに（コロナ禍における会場定員内で）対面での研修会を実施した。久々に多くの参加者があった。できるだけ近隣校の小中学校の先生方を同じグループとしてワークショップ形式での研修とした。

下中一平指導主事からは、「熊本の学び推進プラン」をもとに、「熊本の学び」の理念と学習構想案、指導方法について詳しく説明していただいた。学習構想案を書くことが目的ではなく、「問いを發し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める熊本の子供」にしていくことを目的として授業改善をする必要があること等を学ぶことができた。参加者からは、高評価であった。

文集「あまくさ」第56集は、学校図書館部門の先生方との合同審査を経て今年度も無事発行することができた。審査に協力していただいた先生方に感謝したい。各校の作文指導に活用していただければ幸いである。